

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：2024年 2月26日

事業所名：音楽療育支援教室 どれみの森

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	5	0	人数が多い時は動きやすいように工夫している。	部屋を有効活用したり、コーナー別に分けるなど工夫していきます。
	2	5	0	職員の数に合わせた配置している。	急な人員不足にも法人内事業所と連携して対応しています。
	3	5	0	指示書を提示し、目で見て分かるよう工夫し、過ごしやすい環境を心がけている。	段差をなくし、伸び伸びとかつどうできるようにしていきます。絵や写真での指示書を掲示し、生活しやすくしていきます。
	4	5	0	清潔を維持し、読書する場、座って遊ぶ場、身体を動かす場等区切って生活している	清潔で安全に利用していただくために、危険箇所がないか確認していきます。
業務改善	5	5	0	フィードバックを毎日行い、職員間で話し合い業務改善を心がけている。	療育活動後に一人一人についてのフィードバックを行い、支援の仕方や原因、計画の追求をしていきます。
	6	5	0	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	アンケート結果を真摯に受け止め、業務改善に努めていきます。
	7	5	0	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	今後も評価結果を随時公表していきます。
	8	5	0	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	外部からの評価を受け、良い療育計画を作成していきます。
	9	5	0	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	スキル向上のため、施設外の研修にも積極的に参加していきます。
適切な支援の提供	10	5	0	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	利用者様、保護者様と丁寧に面談を行い、課題をこなし目標達成していけるように、計画書に反映していきます。
	11	5	0	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	相談支援員と連携を図りながら、アセスメントを行い、状況を把握していく。
	12	5	0	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	今後もより具体的に支援方法と内容を設定し支援を進めていきます。
	13	5	0	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	利用者様の現状に合った計画作成をし、丁寧な支援をしていきます。
	14	5	0	活動プログラムの立案をチームで行っている	週ごとに療育コンテンツを入れ替えたり、定期的に見直しや検討を行っています。
	15	5	0	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	利用者様の伸ばしていきたい姿を話し合い、都度内容を工夫しています。
	16	5	0	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	集団での課題と一人一人の課題に合わせた療育を同時並行で行っていきます。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：2024年 2月26日

事業所名：音楽療育支援教室 どれみの森

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	毎日の朝礼でその日の分担を全員で確認する。	今後も課題の目標や支援の仕方を共通理解する時間を設けて、確認していきます。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	翌日、前日の子供達の様子を報告し合い、支援方法について共有している。	職員間でも適切な支援の仕方を互いに助言しあい、改善点を共有していきます。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	個人の記録表を用いて、検証・改善している。	フィードバックで出た意見や様子を記録で残し、何か起きた際には、振り返って検証改善に繋がります。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	定期的にモニタリングを行い、計画支援に反映している。	モニタリングで状況の変化を認識し、サービス計画の見直しをしていきます。
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	管理者または児童発達支援管理責任者が参加している。	現場の職員からも情報提供をもらい、会議に参加していきます。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	会議に参加し、連携を続けている。	今後は連携の幅を広げているいろいろな機関と協力していきたい。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	5	医療的ケア児の子供がいない。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	5	医療的ケア児の子供がいない。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	幼稚園へ行き、情報共有を大切にしている。	今後も情報共有を行い、支援計画に活かしていきたい
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	小学校へ行って、情報共有を大切にしている。	今後も情報共有を行い、支援計画に活かしていきたい
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	研修に参加し、職員間で情報共有しています。	今後も研修に参加し、職員間で情報共有していきます。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4	コロナが大分治まってきているので、交流をしていきたい。	様々な人たちと交流できる活動を企画したり、参加していきたいと思っている。
	29 (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	2	今年度より再開しましたので、参加しました。	これからも積極的に参加し、学んだり、情報交換をしていきたい。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	5	0	毎日の帰りの際に来事や課題について話し、共通理解を持っている。送迎時の玄関先等で子どもの様子を伝え、情報共有を行っている。保護者様や職員との間で情報共有を忘れないよう、密に行っている。	今後も密な情報交換や相談を行い、支援方法についても納得していただいた上で、支援を進めていきます。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5	0	保護者からの様々な相談に応じ、寄り添いながら助言をすることもある。	職員もペアレントトレーニングの研修に参加し、保護者の方に対して適切な助言や対応を行えるように、技術を高めていきたい。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時に不明な点が無いように説明や確認をしています。	今後も保護者様に不安が無いように説明や確認を丁寧にしていきます。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：2024年 2月26日

事業所名：音楽療育支援教室 どれみの森

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	ガイドラインをよく読んで理解し、支援内容に活かしている。	今後も活動を組み合わせて、社会性や協調性、運動面の力がつくように支援を行っています。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	月に1度の通信や日頃のInstagramで発信している。	通信やInstagramで、お子様の日頃の活動風景やエピソードをお伝えできるようにしていきます。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5	コロナ禍の影響もあり、出来ていない。	今後、保護者様のニーズを把握し、話し合いの場を設けていきたい。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	苦情・相談受付マニュアルを作成し、マニュアルに基づいて行っております。	苦情に関しては、相談窓口をお伝えし、迅速に誠実に対応できるように体制を整えていきます。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	月に1度の通信や日頃のInstagramで発信している。	通信やInstagramで、お子様の日頃の活動風景やエピソードをお伝えできるようにしていきます。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	個人情報を使用する際は、保護者様の承諾を得ております。	今後も複数人で確認しながら、個人情報の公開には十分配慮していきます。
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	帰りの送迎時や連絡帳、面談などで信頼関係づくりと、お子様の情報提供に努めています。	朝礼時やフィードバック時、申し送り書等で情報共有を行っている。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5	新型コロナウイルス感染等の影響もあり、開催しておりませんでした。	体験会やイベントを開催して、地域に開かれた事業所を目指していきたい。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	各種対応マニュアルを用意し、研修の場を通して緊急時の対応について学んでいます。	研修の場を通して緊急時等の対応について学んでいきます。掲示物や通信等で周知をしていきます。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	火災、水害、地震の避難訓練も実施し、通信にて報告しています。	定期的に訓練を受け、緊急時にスムーズに対応できるようにしていきたい。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	アセスメントシートを使用し、服薬状況や既往歴の確認をし、対応方法等の情報共有している。	今後も身体状態、精神状態に考慮し、保護者様と情報を共有しながら安全に過ごせるよう配慮していく。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	アレルギーの子には、定期的に保護者と連絡を取りあっている。	誤食がない様に、複数の職員で確認行っています。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	その都度、ヒヤリハット報告書を作成し、再発防止に努めています。	・今後も防げる事故やけがが起きないように、再発防止に努めていきます。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	虐待についての知識を深め、関わり方を再確認しています。	事例を基に虐待についての理解を深めていきたい。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	1	4	保護者への説明はしているが、計画に記載していなかったため。今後は記載をいたします。	保護者への説明はしているが、計画に記載していなかったため。今後は記載をいたします。